

2022年1月18日

## 踏切と～まれ！

### 『厳寒季の踏切事故防止キャンペーン』を行います！

JR北海道では、1月21日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図るため「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、道路はますます滑りやすい状態になることが想定されます。そこで「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」「早めのブレーキとスピードダウン」など、駅及び列車内の車内放送等により、安全通行をドライバーに呼びかけます



踏切事故防止キャンペーンの様子

#### ■実施期間

2022年1月21日(金)から1月30日(日)までの10日間

#### ■実施内容

- ・列車内での車内放送による呼びかけ
  - ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
  - ・関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問しての呼びかけ
  - ・ラジオCMの放送
  - ・駅構内での踏切事故防止用ポスターの掲出
  - ・駅構内でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ(札幌駅他12駅)
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方と接触する駅構内・踏切等での啓発活動は中止します。

#### <2021年度の踏切事故発生状況>

2021年度、1月16日時点で踏切事故は、2件発生しています。昨年度の同時期と比較すると1件の増加となっています。過去5年間における冬期間(12月～3月)での踏切事故は12件発生し、全体の約6割となっています。これから冬本番を迎え、路面凍結による踏切手前でのスリップ事故が懸念されます。

また、過去には視界不良による踏切内での車の脱輪や、踏切から線路へ進入し動けなくなり、列車と衝撃した事故も発生しています。

天候や路面状況に応じた慎重な運転を心がけ、踏切手前でのスピードダウンと早めブレーキによる確実な一旦停止と安全確認を呼びかけてまいります。